

## 新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、新たに下記の項目が受託可能となりましたのでご案内いたします。  
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

### 記

#### ■実施日 令和3年3月31日(水) ご依頼分より

#### ■新規実施項目

項目コード	検査項目	項目コード	検査項目
2433-02 2433-03	アルドステロン〔CLEIA〕	2435-03	レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕
2434-05	尿中アルドステロン〔CLEIA〕	2438-03	アルドステロン/レニン活性比
2436-03	レニン活性(PRA)〔EIA〕	2437-03	アルドステロン/レニン濃度比

#### ■受託中止項目

総合検査案内 頁	項目 コード	検査項目	総合検査案内 頁	項目 コード	検査項目
p34	2054-02 2054-03	アルドステロン	p42	2112-03	レニン定量<活性型>
	2054-05	アルドステロン<蓄尿>		2371-03	アルドステロン/レニン活性比
p42	2111-03	レニン活性(PRA)		2372-03	アルドステロン/レニン定量比

方法変更に伴い、令和3年3月30日(火)依頼分をもって受託中止とさせていただきます。

詳細については次頁以降をご参照下さい。

# ● アルドステロン

アルドステロンは、副腎皮質球状層で産生・分泌される最も強力な鉱質コルチコイドであり、電解質の恒常性・循環血液量・血圧の維持に重要な役割を果たしています。アルドステロンの分泌は、レニン-アンジオテンシン系、ACTH、血中カリウム濃度によって調整されています。

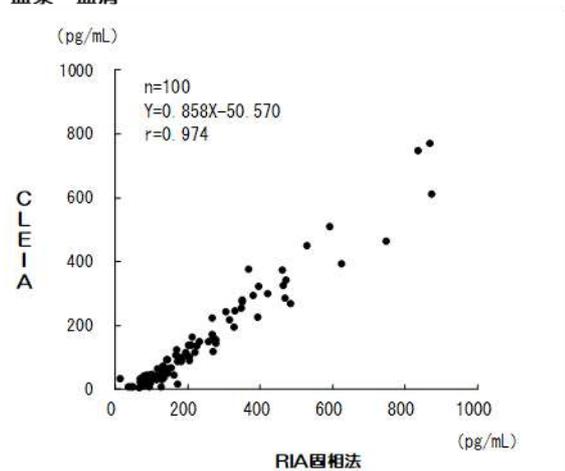
本検査項目は、日本内分泌学会の方針に基づいた、標準化対応試薬を採用しています。原発性アルドステロン症をはじめとした高血圧疾患、腎疾患、浮腫性疾患などの診断と鑑別に有用です。

## ▼検査要項

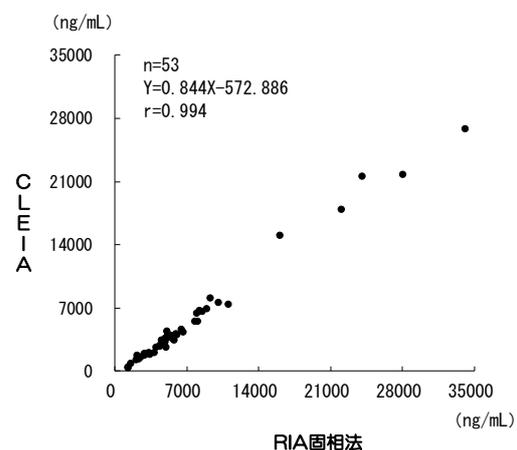
	新			現		
総合検査案内頁				p34		
検査項目名	アルドステロン〔CLEIA〕			アルドステロン		
項目コード	2433-02	2433-03	2434-05	2054-02	2054-03	2054-05
検体量(mL)	血液 3.0	血液 2.0	蓄尿 1.5	血液 3.0	血液 2.0	蓄尿 1.5
容器	X	C (EDTA-2Na)	Y	X	C (EDTA-2Na)	Y
所要日数	2~5日		5~8日	3~6日		3~8日
検査方法	CLEIA			RIA固相法		
基準範囲	4.0~82.1 (pg/mL)		1.0~19.3 (μg/day)	随時 35.7~240 臥位 29.9~159 立位 38.9~307 (pg/mL)		10 以下 (μg/day)
備考			蓄尿剤として塩酸およびC-ペプチド安定化剤を使用しないでください。			

## ● 相関

### 血漿・血清



### 尿



## ● レニン活性(PRA)・レニン濃度(ARC)

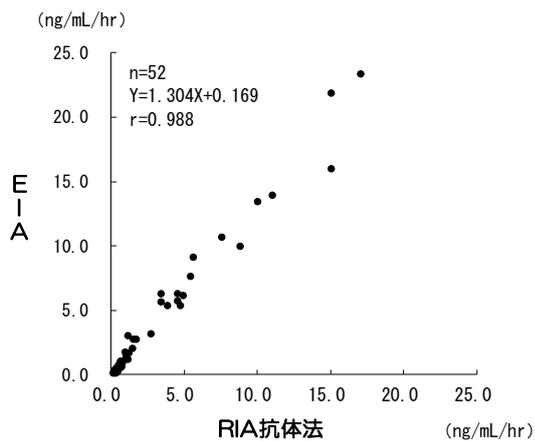
レニンは腎臓の傍糸球体細胞で産生されるプロテアーゼであり、血中では活性型または不活性型(プロレニン)として存在します。活性型レニンはアンジオテンジノーゲンをアンジオテンシン I に変換し、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系を介して電解質の恒常性、循環血液量、血圧の維持に重要な役割を果たしています。

活性型レニン濃度の測定は、原発性アルドステロン症や腎血管性高血圧症などの二次性高血圧の診断と鑑別に有用です。

### ▼検査要項

	新	現
総合検案内頁		p42
検査項目名	レニン活性(PRA)[EIA]	レニン活性(PRA)
項目コード	2436-03	2111-03
所要日数	3~6日	3~6日
検査方法	EIA	RIA2抗体法
基準範囲	臥位 0.2~2.3 座位 0.2~3.9 立位 0.2~4.1 (ng/mL/hr)	臥位 0.3~2.9 立位 0.3~5.4 (ng/mL/hr)

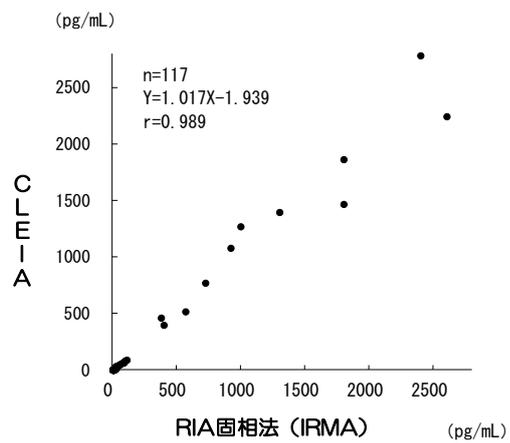
### ● 相関



## ▼検査要項

新		現	
総合検査案内頁		p42	
検査項目名	レニン濃度(ARC)[CLEIA]	レニン定量(活性型)	
項目コード	2435-03	2112-03	
所要日数	2~5日	2~6日	
検査方法	CLEIA	RIA固相法(IRMA)	
基準範囲	2.21~39.5 (pg/mL)	随時 3.2~36 臥位 2.5~21 立位 3.6~64 (pg/mL)	

## ●相関



## ● アルドステロン/レニン活性比・濃度比

二次性高血圧の主な原因とされる原発性アルドステロン症(primary aldosteronism:PA)は、高血圧において約5%を占めることが報告されています。

日本内分泌学会「原発性アルドステロン症(PA)診断の手引き」ではPAのスクリーニング検査として血漿活性型レニン濃度(ARC)または血漿レニン活性(PRA)と血漿アルドステロン濃度(PAC)との比が指標とされています。

### ▼検査要項

	新	現
総合検査案内頁		p42
検査項目名	アルドステロン/レニン活性比	アルドステロン/レニン活性比
項目コード	2438-03	2371-03
所要日数	3~6日	3~6日
検査方法	アルドステロン:CLEIA レニン活性:EIA	アルドステロン:RIA固相法 レニン活性:RIA2抗体法
備考	基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。	

### ▼検査要項

	新	現
総合検査案内頁		p42
検査項目名	アルドステロン/レニン濃度比	アルドステロン/レニン定量比
項目コード	2437-03	2372-03
所要日数	2~5日	2~6日
検査方法	CLEIA	RIA固相法
備考	基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。濃度比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。	